

(五) 戦後欠乏ヨリ解放セラレタル世界秩序ヲ建設スベキ道程ニ於テ、能ク指導者タリ得ベキ国力及資財ヲ有スルハ独リ米国タルベキコト。

(六) 汎米協力機構ハ之ヲ継続スルコト。

等ヲ高唱セリト報道セラレタルガ、右ハ同次官ノ地位ニモ鑑ミ平和ニ関スル米国政府ノ具体的の意向ノ一端ヲ表明セルモノトシテ頗ル一般ノ注意ヲ惹キ、殊ニ戦後最終的平和条件ヲ確定スルニ至ル迄ノ過渡的期間トシテ相当長期ニ亘ル休戦期間ヲ設ケントスル点及右期間内國際警察力ヲ組織セントスル点ハ、特ニ内外各方面ノ注意ヲ喚起セルモノノ如シ。

右「ウエルズ」次官演説ノ直後之ニ共鳴セリト称スル蘇連ガ在蘇米国新聞通信員ヲシテ蘇連ノ講和条件ノ一部トモ見ルベキ諸条項ヲ打電セシメ、其ノ中蘇連安全保障ノ必要区域トシテ「バルト」三国、「カレディア」、「モルダヴィア」、白露、「ウクライナ」、「ダニユーブ」三角州、「カルパト」分水地区ノ確保ヲ主張シ、特ニ「バルト」三国併合ニ関シテハ講和ニ於テ議スベキ議題ノ範囲外ナリト強調セル外、芬蘭、羅馬尼等ガ客年六月以降占領セル地区ノ返還ヲ要求シ、波蘭ニ於テハ蘇波両国間ニ常ニ直接交渉ノ途開カレ居レリト述べ、「スターイン」ハ既ニ強力ニシテ独立ナル波蘭ノ再建ヲ誓言シタリ云々ト宣伝セシメ居ルハ頗ル注意ニ値スベク、一方六月二日英國上院ノ討議ニ於テ植民大臣「クランボーン」卿ガ目下英、米・蘇其ノ他ノ与国間ニ戦後平和ノ問題ニ付協議進行中ナル旨答弁シ居ル事実、及米國ノ羅馬尼、匈牙利、勃牙利三国ニ対スル宣戰布告ガ主トシテ蘇連ノ要請ニ依ル旨ノ報道専ラナル事情ニ鑑ミ、最近少クトモ英米蘇三國間ニ歐州第二戦線速開問題協議ト関連シ平和ニ関スル何等カノ交渉行ハレ居ルハ大体之ヲ推断スルニ難カラズ、(六月十一日乗船後、英・蘇、米・蘇協定成立ノ報ヲ聞ク) 幽居中纔カニ「ニューヨーク・タイムス」ノミヲ通ジ外間ノ消息ニ接シ居ルノミニシテ、歐州方面外交情勢ノ如キ素ヨリ之ヲ詳カニセザルモ、右ノ如キハ戦争遂行ノ一面各國ノ外交的活動が決シテ休止シ居ラザルヲ物語ル好個ノ一例ト認メラレ、我國トシテモ軍事行動及東亜共栄圏確立ニ必要ナル政治経済上ノ目的諸工作ヲ進ムルト共ニ、常ニ外国外交上ノ動向ニ留意シ、其ノ間ノ対策万遺算ナキヲ期セザルベカラズ。

日本外交文書 日米交渉——一九四一年——(上・下巻) 日付索引

日米交渉——九四一年——(上・下巻) 日付索引

※文書番号 24までの文書の頁数は上巻のものであり、24以降の文書の頁数は下巻のものである。

昭和一六年（一九四一）
一月

事項番号 文書番号

番書電
号信信

受信者

件

名

貳

一
昭和16年1月22日

二月

一
昭和16年2月7日

六八 在米國野村大使宛（電報）
松岡外務大臣宛（電報）
在米國野村大使より
八五

告
信任状捧呈の際の米国大統領の時局談要旨報
ルト米国大統領および有力者に徹底方訓令
日本米關係に關する我か方の眞意をルースウエ

別
電

二月一四日付在米國野村大使より松岡外務大臣宛第八七号
大統領答辭

昭和16年5月12日	二九四	在米國外務大臣大使(電報)	別電	五月一三日付在米國野村大使より 米國國務長官に手交した我が方対案(英文)報告	對野村大使より米國國務長官に手交した我が方対案(英文)報告	62
昭和16年5月13日	45	昭和16年5月13日	二二四	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	63
昭和16年5月13日	46	昭和16年5月13日	二二五	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	62
昭和16年5月13日	47	昭和16年5月13日	二二六	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	67
昭和16年5月13日	48	昭和16年5月13日	二二七	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	67
昭和16年5月13日	49	昭和16年5月13日	二二八	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	68
昭和16年5月13日	50	昭和16年5月13日	二二九	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	68
昭和16年5月14日	51	昭和16年5月14日	二二一〇	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	69
昭和16年5月14日	52	昭和16年5月14日	二二一五	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	69
昭和16年5月15日	53	昭和16年5月15日	二二一六	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	69
昭和16年5月15日	54	昭和16年5月15日	二二一七	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	69
昭和16年5月15日	55	昭和16年5月15日	二二一八	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	69
昭和16年5月15日	56	昭和16年5月15日	二二一九	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	69
昭和16年5月16日	57	昭和16年5月16日	二二二〇	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	69
昭和16年5月17日	58	昭和16年5月17日	二二二一	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	69
昭和16年5月17日	59	昭和16年5月17日	二二二二	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	69
昭和16年5月18日	60	昭和16年5月17日	二二二三	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	69
昭和16年5月18日	61	昭和16年5月17日	二二二四	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	69
昭和16年5月19日	62	昭和16年5月17日	二二二五	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	69
昭和16年5月19日	63	昭和16年5月17日	二二二六	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	69
昭和16年5月20日	64	昭和16年5月17日	二二二七	松岡外務大臣大使宛(電報)	在米國野村大使より	69

二
六月二三日付在米国野村大使より松岡外務大臣宛第四二七号
曰米両國政府の寸属追加書

日米両国政府の付属追加書

付詫一右別電一詫文

館長外機密符号在松岡外務大臣より
在米国野村大使宛（電報）
日本米交渉に關し、大使館付武官より中央への予報的電報差し控え方注意喚起
必ずソ戦勃発に際し日米了解早急に成立させる
四五二 在米國外務大臣大使（電報）

七
月

月

在米國野村大臣

近衛首相とUP記者との会見談

在米國野村大使宛
（電報）

六國倒対策に付ての我が方回答書

別電一

臣より在米國野村大使宛第三四二号
首相宛メツセージ

付記 右別電二訳文

八 在米国野村大使より
松岡外務大臣宛(電報)

自衛権および無差別待遇に関する
ついて

二 七月九日付
無差別待遇に

人使より松岡外務大臣宛第四九〇号
同書

七 在米国野村大使より
松岡外務大臣宛（電報）

自衛権に関する交換書簡中の不明
て

六 松岡外務大臣より
在米國野村大使宛（電報）
在米國野村大使より

野村大使帰朝要請却下について

四
松岡外務大臣より
在米国野村大使宛
(電報)
松岡外務大臣より

米国側オーバル・ステートメント
方訓令

在米國野村大使宛（電報）

明治二十二年九月廿一日
大日本國總理大臣
外務省大臣
在米國野村大使宛第三六六

我が方対案七月一五日付松岡外務大臣より在米国野村大使宛第三六六号

付記一　日米協定案に関する松岡外務大臣の意見書		付記二　日米協定案に関する齊藤良衛外務省顧問の政府統帥部連絡会議における説明摘要	
二　昭和16年7月15日		二　昭和16年7月15日	
118	117	116	115
昭和16年7月26日	昭和16年7月25日	昭和16年7月24日	昭和16年7月24日
五七六	五六七	四〇五	四〇三
在本邦外務大臣大使より 付記一　七月二六日付駐日米国大使に手交した覚書	豊田外務大臣大使（電報）	在米國野村大使宛（電報）	南部仮印進駐に關し駐日米国大使との會談録
付記一　七月二六日付駐日米国大使に手交した覚書	在本邦外務大臣大使（電報）	在米國野村大使より 別電　七月二四日付豊田外務大臣大使宛（電報）	南部仮印進駐に對する米國側措置につき米國閣僚の内話について
昭和16年7月25日	昭和16年7月25日	昭和16年7月24日	昭和16年7月24日
二　二	二　二	二　二	二　二
114	113	112	111
昭和16年7月24日	昭和16年7月24日	昭和16年7月24日	昭和16年7月23日
四〇一	五六五	四五〇	一五八七合
別電　七月二四日付豊田外務大臣大使宛（電報）	在米國野村大使より 別電　七月二四日付豊田外務大臣大使宛（電報）	在米國野村大使より 別電　七月二四日付豊田外務大臣大使宛（電報）	各大使宛（電報）
交渉経緯概要	在米國野村大使より 別電　七月二四日付豊田外務大臣大使宛（電報）	在米國野村大使より 別電　七月二四日付豊田外務大臣大使宛（電報）	南部仮印進駐に關する宣傳方針について
付記　七月二五日豊田外務大臣と駐日米国大使との會談録	在米國野村大使より 別電　七月二四日付豊田外務大臣大使宛（電報）	在米國野村大使より 別電　七月二四日付豊田外務大臣大使宛（電報）	南部仮印進駐に關する米國大統領との會談につき報告
訓令　南部仮印進駐の真意につき米國側へ申入れ方	南部仮印進駐に關する政府声明	南部仮印進駐に關する政府声明	南部仮印進駐に對するヴィシー政府との交渉
168	169	170	171
170	171	172	173
174	175	176	177
176	177	178	179
154	155	156	157
157	158	159	160
160	161	162	163
163	164	165	166
166	167	168	169
169	170	171	172
172	173	174	175
175	176	177	178

二
月

八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八												
455	454	453		452	451	450	449	448	447	446	445						439	438	437	436	435	434															
昭和16年12月6日	昭和16年12月6日	昭和16年12月6日		昭和16年12月6日	昭和16年12月5日	昭和16年12月5日	昭和16年12月4日	昭和16年12月3日	昭和16年12月3日	昭和16年12月3日	昭和16年12月3日						昭和16年12月2日	昭和16年12月1日																			
一 二 七 五	九 〇 四	東 鄉 外 務 大 臣 宛 (電 報)		九 〇 一	東 鄉 外 務 大 臣 宛 (電 報)		一 四 一	在 米 國 野 村 大 使 宛 (電 報)	東 鄉 外 務 大 臣 宛 (電 報)	一 三 六 一	在 米 國 野 村 大 使 宛 (電 報)						八 七 五	八 七 六	八 七 七	八 七 八	八 七 九	八 七 三	一 二 三 四	一 二 三 一	一 二 三 二												
在 米 國 野 村 大 使 宛 (電 報)		別 電 「對 米 覺 書」	付 記 右 別 電 訊 文														東 鄉 外 務 大 臣 宛 (電 報)																				
在 米 國 野 村 大 使 宛 (電 報)		「對 米 覺 書」																																			
米 國 大 統 領 よ り 天 皇 陛 下 へ 親 電 發 出 に つ い て		局 面 打 開 の た め の 側 面 工 作 に つ き 報 告																																			
252					251	251	246	237	237	235	235	235					232	233	234	234	235	235	235	236	236	236											

付 記 右別電訊文

「東條首相演説」等に対する米国側の反応について 223

東郷外務大臣宛(電報) 在米国野村大使より

東郷外務大臣宛(電報) 在米国野村大使より

東郷外務大臣宛(電報) 在米国野村大使より

東郷外務大臣宛(電報) 在米国野村大使より

東郷外務大臣宛(電報) 在米国側覚書にて

別電 一二月二日付 在米国野村大使より 東郷外務大臣宛第一二三三三号

米国側覚書 一二月二日付 在米国野村大使より 東郷外務大臣宛(電報)

東郷外務大臣宛(電報) 在米国野村大使より

「東條首相演説」の経緯に關し米国側へ説明について 229
 仏印兵力増強に関する米国側覚書への回答につき訓令 229
 首脳会談の再提議は不適当の旨訓令 230
 我が方最終提案につき確認 231
 我が方方針米国側へ徹底方訓令 231
 日米交渉の経緯と仏印兵力増強に関する米国大統領の記者会見について 232
 大統領の記者会見について 232

東郷外務大臣宛(電報) 在米国野村大使より

付記一 一二月六日付天皇陛下宛米国大統領親電

二 右訳文

在米國外務大臣より
（電報）

米国大統領よりの親電に關し照会

九〇五 在東郷外務大臣大使宛
（電報）

「対米覚書」手交方訓令
兩大使以下館員に対する慰勞の意伝達

昭和16年12月7日 九〇七 在東郷外務大臣大使宛
（電報）

昭和16年12月7日 九〇八 在東郷外務大臣大使宛
（電報）

昭和16年12月7日 九一一 在東郷外務大臣大使宛
（電報）

昭和16年12月8日 九一〇 在東郷外務大臣大使宛
（電報）

付記一 天皇陛下の米国大統領宛回答

二 右回答英訳文

三 米国大統領親電に関する経緯

在東郷外務大臣使 会談

「対米覚書」の一部修正方訓令
米国大統領親電への天皇陛下回答伝達に際しての駐日米國大使との会談要旨

宣戰の詔書

付記一 宣戰に関する政府声明

二 右政府声明英訳文

八 八 462 461 昭和16年12月8日

八 八 460 459 昭和16年12月8日

八 八 458 457 昭和16年12月7日

八 八 456 昭和16年12月7日

九〇五 在東郷外務大臣大使宛
（電報）

九〇七 在東郷外務大臣大使宛
（電報）

九〇八 在東郷外務大臣大使宛
（電報）

九一一 在東郷外務大臣大使宛
（電報）

九一〇 在東郷外務大臣大使宛
（電報）

九一一 在東郷外務大臣大使宛
（電報）

付記一 一二月八日枢密院会議事要録
米国および英國に対し宣戰布告の件

三 一二月八日枢密院会議事要録
米国および英國に対し宣戰布告の件

四 一二月八日外務省公表

五 右公表英訳文

… … …
275 270 268

… … …
265 263 262 261 260 259 259 259 259 259 257 257 257 257 257 255 252